



# はしもと

〈病院理念〉

地域に根づいた患者様に信頼される病院づくり

〈基本方針〉

～心のかよう病院を目指して～

患者様のため、まごころの医療を目指します

地域の皆様から信頼される病院づくりに努めます

常に新しく良質な医療ができるように心がけます

皆様の健康増進、疾病予防のお役に立ちたいと願っております

〈病院運営のコンセプト〉

1. 気づきの医療

2. わかりやすさ



## 入職式

### 平成29年度 新入職者紹介

4月1日、3日に入職式を実施しました。新入職者を紹介させていただきます。



岡田 沙矢香	川井 茂崇	林 広野	木田 亮輔	杉本 和歌子
准看護師	理学療法士	作業療法士	理学療法士	言語聴覚士
岡田 友里恵	竹本 絵莉	木下 三寿希	高橋 美帆	齊藤 幸
看護師	理学療法士	言語聴覚士	言語聴覚士	介護福祉士
小松 莉沙	戸城 由貴	成瀬 瑞貴	小林 采花	綾 聖加
看護師	看護師	理学療法士	理学療法士	理学療法士
李永 満理	李永 満理	作業療法士	作業療法士	看護師

## 新人研修

和風会合同新人セラピスト合宿研修が平成29年4月26日～28日の3日間、淡路島で行われました。

大阪の千里リハビリテーション病院と橋本病院との合同でしたので、新人セラピストが千里35名、橋本10名の合計45名と大人数での研修でした。講師およびスタッフとして、橋本康子理事長、千里リハビリテーション病院の合田文則副院長、吉尾雅春副院長、橋本病院の宮本美恵子副院長と各病院の管理職が数名参加しました。

初日、2日目は講義、グループワーク、プレゼンテーションという流れで進みました。テーマとして、「病棟配属」、「チーム医療」など和風会ならではの内容でした。グループは職種、病院に関係なく構成されたメンバーでしたが、顔を合わせる、言葉を交わすごとに多くを語り合える仲間になり、非常に活発な意見交換がなされており、チーム医療の始まりを見ているようでした。

最終日には、患者様を想定しての問題提起や目標設定、リハビリプログラムの立案など、リハビリを行うに当たっての具体的な内容に移っていました。それぞれのグループの考えを発表したのちに、患者役を立てて新人セラピストのリハビリ介入の指導が行われました。中には、管理職からの厳しい指導もありましたが、真摯に受け止めて成長しようという姿勢が見てとれました。

3日間という短い期間でしたが、数々の貴重な体験があり、これから長いセラピスト人生において、良いスタートが切れたのではないかと思います。



聽講



スライド学習



発表準備



実技練習

## メディコポリス観音寺

### 体調管理に気をつけましょう

心地よい風と若葉の緑が美しく生い茂るさわやかな季節です。緑は、人々の心に癒しをもたらします。しかし、この時期は気温・湿度が急激に変化をする時期でもあります。細菌、ウイルスの中には増殖して食中毒を引き起こすものもあるため、うがいと手洗いを小まめに行い、雨の日の翌日には部屋の温度を早く下げるために日中は窓を開けて換気を行ってください。布団の天日干しや部屋の掃除を行うことも部屋の湿度を下げるには有効です。また、日中は気温が上がるため汗をかきやすくなり、体内に熱がこもりがちになります。衣服の調節やエアコンの利用などで体温の調節を行い、喉の渇きを強く感じる前にこまめな水分補給をして脱水予防を行ってください。汗をかいた際はその都度拭いたり、1日の終わりには入浴をしたりして清潔感を保つことも大切です。体調管理をしっかりして、健康に毎日を過ごすようにしてください。

### 園芸療法

利用者様の在宅生活での楽しみを増やしていただける様に様々な活動を通して自立支援へ繋げられるケアを提供しています。中でも女性に人気なのがフラワーアレンジメントや鉢植えといった、お花を扱う園芸です。先月はプランターに土を入れるところから始めてお花の苗を植えていただきました。利用者様の手によって綺麗に植えられた花たちは当施設の玄関に飾させていただき、毎日来所される方を出迎えてくれています。



皆で花を植えています

### 病棟活動

#### お花見イベント

橋本病院の中庭にはさくらの木があり、4月になると満開のさくらをレストラン(食堂)より見る事ができます。回復期リハビリテーション病棟では、季節ごとに季節感のあるイベントを行っています。

4月はお花見の季節なので、患者様とリハビリスタッフや看護師、介護士など他職種のスタッフと一緒に中庭のさくらの木でお花見をするイベントを行いました。患者様自ら、立ち上がり立位でお茶を入れ、配つたり、包丁でようかんを切るなど調理訓練もかねて行うことができました。和やかに良い時間を過ごすことができました。



ようかんを食べやすい大きさに切っています



さくらの花を見ながらお茶会です



立ってお茶をいれています

## 防火防災訓練

### 南海地震を想定した防災訓練を行いました

今後30年以内に70%以上の確率で発生すると言われている、南海トラフ地震を想定した防災訓練を3月29日に行いました。地震の際の初期動作、避難、外部からの受け入れ、トリアージ等の行動が速やかに行えるよう、毎年この時期に実施し、少しづつ構築できています。今後も訓練を重ねていく予定です。



皆さまは、シェイクアウト訓練を知っていますか？

シェイクアウト訓練とは地震の揺れから身を守る安全行動の事で、もし、強い揺れを感じたら、ドロップ（姿勢を低く）、カバー（体・頭を守る）、ホールドオン（揺れが収まるまでじっとしている）という身を守るために行動をとることです。万が一に備え自宅でも練習を行ってみてください。



防災訓練

## ボランティア

### ♪ほほえみ♪コンサート

3月27日 童謡・歌唱を歌う会♪ほほえみ♪の皆様が来て下さいました。当院、通所リハビリテーションはしもと認知症治療病棟で童謡や昔懐かしい歌謡曲を唱っていただきました。利用者様や患者様も知っている曲が多く、一緒に口ずさんだり手をたたいたりしながら笑顔あふれる楽しい時間を過ごせました。

ボランティアの皆様本当にありがとうございました。



懐かしい歌と一緒に歌って、若い時のことと思い出し楽しかったとお話ししてくれました。

美しい歌声が部屋の中いっぱいに広がりました。

## 糖尿病教室

**平成29年3月11日と3月25日に外来患者様対象に糖尿病教室を開催しました。**

### 講義内容

『糖尿病について』 香川大学医学部附属病院 医師 井町仁美

糖尿病とはインスリンというホルモンの作用が低下したため、体内に取り入れられた栄養がうまく作用されずに、血液中のブドウ糖(血糖)が多くなっている状態です。糖尿病が悪化すると糖尿病網膜症、糖尿病腎症、糖尿病神経障害となる可能性が高くなります。そのため初期の段階からしっかり治療していくようにしましょう。

『糖尿病の食事療法』 橋本病院 管理栄養士 武田あゆみ

血糖の上昇を緩やかにすることが大切です。そのためには、①一食抜いたり、夜遅く食べないようにし1日3食規則正しく食べるようにしましょう。②主食の重ね食いはしないようにしましょう。③間食を控えましょう。

また、食べる順番も大切で①野菜類②スープ類③タンパク質④炭水化物の順に食べるよう心掛けましょう。

『糖尿病に対する運動』 橋本病院 理学療法士 平井光弘

運動することで血糖の過度な上昇を防ぐことが出来ます。運動の強度としてはややきつい～楽に感じるぐらいを目標に行うようにしましょう。運動を行う際は運動できる環境を整えましょう。

<椅子に座ってやってみよう！！>

- |                       |                  |
|-----------------------|------------------|
| ①足上げ運動を交互に10回ずつ行いましょう | ④踵上げを10回行いましょう   |
| ②股開きを10回行いましょう        | ⑤つま先上げを10回行いましょう |
| ③膝の曲げ伸ばしを10回行いましょう    |                  |



## 家族会

**回復期リハビリテーション病棟主催の家族会を開催しました。**

**テーマ『薬の作用と効くしくみ・薬を上手に使う豆知識について』 日時：平成29年3月25日**

参加人数：10名

Q：薬を飲み忘れた時や食事をとらなかった時は？

A：一度に2回分のお薬を飲まない。1日2～3回の薬は4～5時間の間隔をあけて飲みましょう。

食事をとらなかった時は多めの水分で飲みましょう。糖尿病の薬などは食事をとっていない時に飲んではいけないものもあります。もし不明な点があれば薬を処方してもらっている所で確認してください。

Q:薬は何で飲むといい？

A:常温の水(水道水)で飲むのが基本です。



ミネラルウォーターはカルシウムやマグネシウムなどのミネラル分によって、一部の薬では吸収が悪くなることがあります。

薬と食品の組み合わせで、効果が強くなったり弱くなったりする事があるので、下記の組み合わせは避けるようにしましょう。

高血圧の薬(一部のカルシウム拮抗薬)+グレープフルーツジュース、血液凝固防止薬(ワーファリン)+ビタミンKを多く含む食品、抗菌薬・抗生物質+牛乳・ヨーグルト、睡眠薬+アルコール、喘息治療薬+喫煙 などがあります。

参加された方からは、・薬服用しても効能があまり理解できていなかったが、家族会に参加して、少し分かった気がします。

・飲み忘れた時や、食事を抜いた時などにどうするかを知ることができた。

・牛乳・ヨーグルトと抗生物質がダメとは知らなかった。 等の感想を頂きました。

今後も、3ヶ月に1回、家族会を開催していますので、是非ご参加ください。

## 地域連携部

平成25年12月1日から行っている**事前訪問**（当院転院前に患者様が入院されている病院へ直接訪問し、心身状態の把握や入院についての説明等を実施）の平成29年3月～4月の実績（回復期リハ病棟）を紹介します。

●1ヶ月の訪問件数：3月【23件】、4月【25件】

●入院されている病院から紹介状が届いて訪問するまでの平均日数：3月【9.3日】、4月【6.8日】

●紹介状が届いて当院へ転院されるまでの平均日数：3月【25.8日】、4月【17.5日】

※事前訪問後、当院へ転院されるまでの平均日数は13.5日（2～29日）です。大変お待たせして申し訳ございません。

### 対象となる方

- 1.脳血管疾患、脊髄損傷、頭部外傷、くも膜下出血のシャント術後、脳腫瘍、脳炎、急性脳症、脊髄炎、多発性神経炎、多発性硬化症、腕神経叢損傷の発症又は手術後、義肢装着訓練を要する状態から2ヶ月以内。
- 2.多肢の骨折、大腿骨、骨盤、脊椎、股関節又は膝関節の骨折もしくは手術後から2ヶ月以内。
- 3.外科的手術又は肺炎等の治療時の安静により廃用症候群を有しており、手術後または発症後から2ヶ月以内。
- 4.大腿骨、骨盤、脊椎、股関節又は関節の神経、筋又は靭帯損傷後の1ヶ月以内。
- 5.股関節又は膝関節の置換術後の状態の1ヶ月以内。



### 移動も安心のサービス

転院の際の無料送迎をしております。ご希望の方はお気軽にお申し出下さい。

### リハビリは 365日、1日3時間



提供させて頂きます。また、チーム医療で早期に退院できるように取り組んでいます。

### 入院相談はお気軽にご連絡下さい！

橋本病院 地域連携部

窓口：大西宏美

電話：0875-63-3552(直通)

0875-63-3311(代表)



認知症治療病棟への入院相談も  
お気軽にご連絡ください。

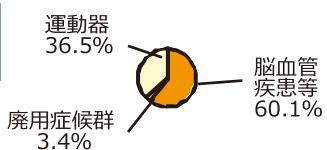


## 事務部

### ～診療実績(H29.4月)～

病棟名	1病棟 (29床)	2病棟 (60床)	3A病棟 (35床)	3B病棟 (32床)
入院料	回復期 リハビリ	回復期 リハビリ	認知症 治療	認知症 治療
平均入院患者数	28.8人	59.5人	34.7人	31.9人
平均在院日数	72日	84日	413日	472日
在宅復帰率	84.0%	80.4%	-	-

#### 入院患者疾患別 リハビリテーション 内訳



### 後期高齢者医療被保険者証

### 高齢受給者証

### 限度額適用認定

### 後期高齢者限度額適用・標準負担額減額認定証

### 更新時期が近づいています！！

現在使用中の証書の有効期限は**平成29年7月末日**までです。新しい証書が届きましたらお早目に病院窓口までご提示をお願いいたします。



### 国保特定健康診査・後期高齢者健康診査

～三豊市・観音寺市にお住まいの方～

**平成29年6月1日～10月31日まで**実施します。

健康診査を受けるためには事前の予約が必要となります。受診券が届きましたらご遠慮なくお問い合わせくださいませ。



## 学会発表

### 第4回慢性期リハビリテーション学会

会期：2017年3月18日(土)～19日(日)

会場：パシフィコ横浜

看護師2名、理学療法士1名、作業療法士2名、言語聴覚士1名の6名が発表し、言語聴覚士の小松愛美さんが286演題中5題の奨励演題に選ばれ表彰されました。



「前頭葉損傷による多彩な高次脳機能障害を呈した

症例へのSTの取り組み〈食事摂取、調理の問題を中心に〉」言語聴覚士 小松愛美

「訪問リハビリテーションによる社会参加支援に関する要因」理学療法士 佐藤勇人

「チームアプローチにより自宅退院に繋がった認知症患者の一例」作業療法士 岩内宏達

「生活行為マネジメントを使用して短期間で多くの生活行為を獲得できた一症例」作業療法士 宮川友輔

「回復期リハビリテーション病棟で拒否のある患者のリハビリへの参加意欲や身体能力の関係性」看護師 香川莉紗

「在宅復帰を希望する患者への看護師の関わり」看護師 田中恵

## ケアマネジャー対象研修会

橋本病院では、入院中のリハビリテーションだけではなく、『在宅で過ごす為のリハビリテーション』にも取り組んでいます。3月16日には、在宅生活を続けていく上で大きな壁となる認知症と、在宅で最期を迎える方に対して我々リハビリスタッフには何が出来るのかといった内容でお話をさせて頂きました。またワークショップでは、病院看護師や理学療法士・作業療法士を交え、在宅生活で問題になっている課題、自宅に帰る前に認知症治療病棟・回復期病棟で取り組んでいる事などの情報交換を行いました。

【日時】平成29年3月16日(木) 14:00～15:30

【場所】橋本病院 会議室

【内容】講演Ⅰ 「認知症ケアの理解と実際」

講師：喜井 隆太郎（橋本病院 作業療法士）



講演Ⅱ 「最期まで支援するリハビリテーション」

講師：佐藤 和美（訪問リハビリテーションセンターはしもと 理学療法士）

ワークショップ 「回復期・認知症病棟と在宅生活の実際」

担当：佐藤 勇人（訪問リハビリテーションセンターはしもと 理学療法士）



### ★次回開催のご案内★

#### 第5回 平成29年8月23日 退院後支援者のケース報告

「退院後支援におけるケース報告(仮)」

〔理学療法士 佐藤 和美〕

「在宅支援に関するワークショップ」

〔理学療法士 佐藤 勇人〕

次回は、在宅生活でセラピストが関わったケースを通して報告致します。

## 千里リハビリテーション病院研修

千里リハビリテーション病院（以下千里リハ）での研修を平成29年2月13日～4月30日まで行いました。当院からは2名の理学療法士が研修に参加させていただきました。吉尾雅春副院長（日本神経理学療法学会代表運営幹事）指導のもと、特に脳・神経領域における最新の知識を勉強させていただき、また千里リハのスタッフとも交流を深めることができました。とても充実した研修を送ることが出来ました。



## イベント

### しこく88kmリレーマラソン2017 開催場所:国営讃岐まんのう公園 開催日:4月16日（日）

42.195kmの部を理学療法士2名、作業療法士5名、言語聴覚士2名の9名（男性5名、女性4名）で走りました。今年入職した新人さんも2名参加してくれました。目標としていた3時間30分を切ることもできましたが、なにより怪我なく走り切れたことが良かったです。次回は10月のいくしまリレーマラソンを予定しています。



## ボランティアのご協力

### ボランティアのご協力をしていただける方を募集しています！

内容として・・・（踊り、手品、紙芝居、大正琴や話し相手・介護など）

橋本病院へご協力をしていただける方は、連絡先：0875-63-3311 担当者：宮本 美恵子  
メディコポリス観音寺へご協力をしていただける方は、連絡先：0875-23-3311 担当者：森香代子  
上記の担当者までお問い合わせ下さい。

## 募集のお知らせ



薬剤師  
看護師・准看護師  
介護福祉士・介護職



まずは、病院見学にお越し下さい！  
給与等詳細は、当院ホームページでも閲覧できます。  
<http://www.wafukai-hashimoto.jp>  
TEL 0875-63-3311(人事担当:安藤)

医療法人社団和風会 橋本病院

〒768-0103

香川県三豊市山本町財田西902番地1

TEL: 0875-63-3311

FAX: 0875-63-2651

入院相談直通電話: 0875-63-3552

E-mail: [wafukai@gaea.ocn.ne.jp](mailto:wafukai@gaea.ocn.ne.jp)

ホームページ: <http://www.wafukai-hashimoto.jp>

発行元: 橋本病院 広報委員会

医 回復期リハビリテーション病棟 89床  
療 認知症治療病棟 67床

介 橋本病院指定居宅介護支援事業所  
護 通所リハビリテーションセンターはしもと  
メ メディコポリス観音寺デイサービスセンターはしもと  
訪問リハビリテーションセンターはしもと

